効果的なパートナーシップの鍵

効果的なパートナーになるには

パートナーシップは、ただ生まれるものではありません。戦略的なビジョンと実践的で地道な作業が必要です。

インターバーシティには、13年以上にわたってパートナーシップの形成と維持を支援してきた経験があります。その経験は数大陸に及び、現在では欧米諸国と非欧米諸国の350以上のミッション団体が伝道パートナーシップに関与しています。このような背景から、またミッション・パートナーシップに関わったことのある多くの人々からの助言から、いくつかの要素が不可欠であることが浮かび上がってきました。

1.効果的なパートナーシップにはファシリテーターが必要です。
戦略的伝道・教会建設パートナーシップを成立させるためには、ビジョンとリーダーシップのある人が不可欠です。長期的なビジョンとパートナーシップのプロセスを同じように信じている人が、グループの組織化と集中を助けるために必要です。

2.効果的なパートナーシップには目的が必要です。
戦略的伝道・教会開拓パートナーシップは、特定のタスク達成の発展していくものです。経験上、ミニストリーや教会がただパートナーシップを結ぶために集まったとしても、それは失敗に終わります。したがって、「どのように」（構造）ではなく、「何を」（目的）に焦点を当てるべきです。

3.効果的なパートナーシップは信頼関係の上に築かれる。
パートナーである団体や教会の間には関係が必要です。オープンで、信頼があり、互い関心を持つような関係を築くには、時間と意図的な努力が欠かせません。パートナーシップは、単なる調整や計画、戦略ではありません。福音の中心は回復された人間関係であり、私たちはこれを説き明かすだけでなく、実証しなければならないのです。

4. 効果的なパートナーシップは、明確なアイデンティティとビジョンを持つ教会やミニストリーで構成される。
個々のパートナー団体は、自分たちが何者であり、何を得意としているのかを明確にすることが重要であす。もし明確な目的とビジョンを持っていなければ、自分たちが全体像のどこに貢献し、どのような共同作業からどのような利益を得ているのかが分かりにくくなります。

5. 効果的なパートナーシップは、「どう違うか」よりも「何をもっているか」に焦点を当てる。
パートナーシップでは、パートナーに共通するもの（ビジョン、価値観、ミニストリー目標など）に焦点を当てることが重要です。また、歴史やリソース、その他の面における違いを認め、祝福することも有効です。

6. 効果的なパートナーシップには、明確で具体的な目標がある。
パートナーシップの初期段階では、特に限定的で達成可能な目標が、成功と効果に不可欠です。現実的な期待がなければ、各団体は自分たちがどのようにパートナーシップに適合しているのか理解できないかもしれません。その結果、フラストレーションが溜まることになります。

7. 効果的なパートナーシップは、祈りと聖餐がパートナー同士を結びつける力になると考える。
効果的なパートナーシップは、頻繁に互いのために祈り、互いの個人的な必要性に関心を示すことによってリフレッシュされ、力を与えられます。また聖餐を共にすることも、強力な結びつきの力となります。

The Power of Partnership: Working Together to Reach the Unreached（パートナーシップの力：未開拓の地に届くために共に働く） (1998、Interversity) から